

学校支援活動

小田っ子は地域の力をお借りして
こんな体験が出来ています！

教室で見かけるときはまだまだあどけなく感じる子どもたちが、田植え足袋をはき、首には大人顔負けのタオルを巻きつけて、下級生の手助けをしながら、一株一株苗を植えていく：こんな生きた教育があるだろうかと目を丸くした6月の**田植え体験**から始まりました。

学校近くの田んぼをお借りして、全校で田植えをし、その後の水の管理、猛暑の中の害虫の駆除等々、地域支援員（佐藤・江川氏）のご苦労を思うと頭がさがります。

稲の株がだんだん増えていく様子をまじかで観察しながら、校庭の**梅ちぎり**をしました。そしてその梅を一つひとつ丁寧に洗い、へたを取っていく姿は自信にあふれていました。近くには優しい目でいつも小田っ子を見守って下さっている弥生さんとカズ子さんがおられます。

7月には下処理をした梅を**梅干し**にする作業を全員でやりました。シソが梅の酸味でだんだん赤くなっていく様子をリアルタイムで観察し

ました。もちろんこの梅干しは給食や家庭科の授業で全校生徒の口に入ることは言うまでもありません。もう、見事な出来栄です。

10月には**稲刈り**を体験しました。機械刈がほとんどの中、鎌で一株一株刈って、くくって、かけ干しにしていきました。お見事！このもち米は保護者がお餅にしてふるまってくれるとのこと。楽しみです！

11月はこの授業の中で観察を続けてきた**さつま芋**を使って**昔ながらのお菓子作り**に挑戦しました。さつ



シソの葉で梅干しの漬け込み。



刈ってかけ干しにした稲の前で。

ま芋を餡にして餃子の皮に包んで油で揚げたり、まんじゅうの生地にも芋を練りこんでホッカホカの柔らかか蒸しまんじゅうを作ったり。「私、これおばあちゃん家で食べたことある！」「初めて食べた！超おいしい！」など、評判は上々。当日だけでなく何度も学校に足を運んで準備をしていたいただいたお二人の支援員のお陰です。

1月はいよいよ食育シリーズの総仕上げ。これも学校で育てた大豆を使って、**豆腐作り**に挑戦です。

「昔はよく作ったけど、今はあまり作らないから：」とちょっぴり不安な支援員のお二人でしたが、今度は養護教諭の中島先生のパワーで何度も予備実験（試作）をし、一番生徒がやすい方法を見つけ、チームワーク



豆腐作り。大豆をミキサーにかけて。

で乗り越えました。

〇〇豆腐に負けないくらい美味しく、まるやかな「ざる豆腐」が出来ました。温かいおぼろ豆腐の美味しかったこと。作った人にしかわからない幸せな味でした。

今、小田小学校は小規模校が故のメリットを大いに生かし、体験活動を充実させています。そして、地域皆で見守ってくれています。まさに**地域「協育力」**の結集です。

「一発屋ではなく、地道に財産として学校に残していきたい」と小野校長は目をほそめておられました。地域のみんなが応援しているよ♪
小田っ子がんばれ♪

玖珠中学校区コーディネーター

岩尾 純子